

## 情勢報告（令和3年2月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

### Google フォーム活用 ～GAP 点検シート回収を簡素化～



アンケート集計画面

JA 高知県れいほく園芸部では、平成 30 年度から高知県版 GAP に取り組んでいます。

GAP の実践にあたり、普及所は JA と協力して独自の点検シートを作成し、農家が記入したものを部会活動時に回収しています。

令和 2 年度には新型コロナウイルスの影響で、ミニトマト部会では反省会が開催されなかったことから、点検シートの回収を簡素化するシステムを開発しました。点検シートの項目を Google フォームで作成し、PC またはスマートフォンを所持している 8 戸の農家に送信して回答してもらいました。

Google フォームの回答率は 87.5% で、「使用感が良かった」と回答した農家の割合は 100%、「これからも利用したい」と回答した農家の割合は 100% でした。

今後も普及所は、GAP 等の取組を推進する上で、省力化についても検討していきます。

### 高品質な花き生産に向けて！ ～花卉部会初会～



生産者が計画を協議

1 月 22 日、JA 高知県れいほく花卉部会は、JA 高知県本山支所で初会を開催し、生産者 6 人が参加しました。

令和 2 年度の活動や販売実績の報告、令和 3 年度の出荷・活動計画について協議しました。

普及所からは、土壌分析結果に基づく土づくりの重要性について説明しました。

生産者からは、「高品質な花きを生産し、計画的な出荷につなげたい」などの意見が聞かれました。

今後も普及所は、定期的に土壌分析を行い、緑肥などの有機物施用や湛水など、総合的な土づくりを推進していきます。

### 新たな年度での事業計画が始動！ ～「伊勢川営農組合総会」開催～



総会の様子

1 月 25 日、土佐町伊勢川地区多目的集会所で伊勢川営農組合定期総会が開催され、組合員 14 人が参加しました。

普及所は総会に先立ち、役員と今年度の活動を振り返り、次年度計画の作成を支援しました。その中で、今後も水稻の作業受託事業を安定的に継続して集落の農地を守るため、作業料金の見直しについて検討することになりました。総会では組合員に課題が広く理解され、あぜ塗りと防除作業料金を見直すことが承認されました。

普及所はこれからも集落・農地を守る組織活動を支援していきます。

## 「土佐酒造酒米生産者組合」反省会を開催



反省会の様子

1月29日、普及所で特別栽培「吟の夢」の反省会が開催され、生産者、土佐酒造、普及所の15名が参加しました。

普及所は、本年度の総括と次作に向けた対策、高知県酒米品評会結果、高知県版GAPの取組について説明しました。

会では、土佐酒造の松本社長から「特色ある日本酒作り」に懸ける熱い想いが語られ、生産者から「次年度はより多くの人材で酒米品評会の上位入賞を目指そう」という意気込みが聞かれました。

普及所はこれからも、関係機関と連携して高品質な酒米生産を支援していきます。

## 次作の栽培に向けて ～「土佐天空の郷」個人面談～



生産者1人1人と面談

2月1日、2日、本山町特産品ブランド化推進協議会では、「土佐天空の郷」の生産者35名を対象に、個人面談を実施しました。

面談では、生産者ごとに収量・品質を確認し、病害虫対策や施肥・水管理等、次作に向けた改善策を協議しました。

また、普及所からは標高別の収量・品質データを示し、「ヒノヒカリ」では標高が低くなると白未熟粒割合が大幅に増加するので、低標高地域では「にこまる」へ転換するよう誘導しました。

生産者からは、「一等米比率が向上するよう防除を徹底したい」「低標高地域では「ヒノヒカリ」の品質が低下しているので、次作は「にこまる」へ転換したい」といった声が聞かれました。

今後も普及所は、高品質米の安定生産に向けて支援していきます。

## 新商品『はちみつ梅キムチ』製造・販売中！

～本山町キムチ生産組合うれっこ～



酸っぱい？辛い？  
やみつきになるおいしさの  
『はちみつ梅キムチ』

2月18日、本山町キムチ生産組合うれっこが、新商品の『はちみつ梅キムチ』を製造しました。

同組合では可能な限り組合員が栽培した食材や地域の食材を使用することをモットーに、生姜、ニンニク、自家製うるめエキスなど9種類の材料で作った本格的な漬け汁を使って、地域ならではのチャーテ（ハヤトウリ）やイタドリや白菜キムチを製造・販売しています。

普及所は、はちみつ梅キムチの商品化に向けパッケージデザインや味付けについて助言してきました。

この日に製造したはちみつ梅キムチは、とさのさとAGRI COLLETOや本山さくら市等の店舗で販売する予定です。

今後も普及所は地域の6次産業化の取り組みや、魅力的な商品開発に向け支援します。